

日本共産党

県民のくらしの 願い実現を

9月25日から10月26日まで開かれた県議会は、2011年度決算などの議案や県民からの請願などを審議。日本共産党県議団は、県民のくらしや安全を守る県政を求めて質問や討論を行いました。

来年度予算編成について知事に重要政策提言を行う日本共産党県議団 (9月10日)

雇用・経済

「官製ワーキングペア」 なくして

建設・土木、医療・福祉、教育など、多くの分野で県の発注や委託を受けてたくさんの方が働いていますが、安値の契約が押しつけられ、働く人の賃金にしわ寄せされています。日本共産党は、労働条件が守られるよう「公契約条例」をつくることを提案。



介護

保険料引き下げ・ 生活援助削減撤回を

値上がりした介護保険料が年金から天引きされ負担は限界に。県の基金をもっと活用して引き下げることを求めました。また、今年度から訪問介護の生活援助（ホームヘルプ）の時間が削減された問題で、県としての影響調査と、介護報酬再改定を国に求めるよう要求。



子ども医療費

中3まで無料に

県下10市町が独自の努力で通院・入院とも中3まで無料にしているのに、県の制度は小6まで、重い窓口負担も残されたまま。県として所得制限なく中3まで無料にするよう求めました。



消費税

消費税増税中止を

県知事は、たびたび国に消費税増税を求めてきましたが、県民のくらしも中小企業の営業も壊されてしまいます。「財政再建」「社会保障」との目的も偽りで、税収が大型公共事業につぎ込まれようとしていることを指摘し、10%への引き上げ反対を求めました。



今議会で審議された請願への各党の態度

○=賛成 ×=反対 △=継続

請願の主旨	共産	自民	民主	公明	審議結果
充実した中学校給食の実施を求める	○	×	×	×	不採択
借り上げ復興住宅の継続入居策を求める	○	×	×	×	不採択
オスプレイ配備中止を求める	○	×	×	○	不採択
非核三原則の法制化を求める	○	×	×	×	不採択
診療報酬にかかる消費税ゼロ税率を求める	○	△	△	△	継続

日本共産党

兵庫 県会報告

発行所 日本共産党兵庫県会議員団
神戸市中央区
下山手通5丁目1-1
(078) 341-7711 内線5251

2012年秋季号 (第150号)

兵庫県議会議員 健康福祉常任委員

きだ結 ゆい



1970年生まれ。神戸女子薬科大学（現神戸薬科大学）卒業。薬剤師。
1994年～2011年まで東神戸病院などに勤務。95年の阪神・淡路大震災で被災、医療分野で被災者救援に従事。2011年4月、県議会議員に初当選、健康福祉常任委員。地域では保育所父母の会会長をつとめる。渦森台在住。家族は夫、小4と小1の女の子。

きだ結ぶるぐ日々是好日

きだ結

検索